

少年犯罪によって奪われた最愛の娘。
犯人は少年法により保護され、
遺族には永遠の絶望が残される。

寺尾 聡
竹野内 豊 伊東四朗

長谷川初範 木下ほうか 池内万作 岡田亮輔 佐藤貴広 黒田耕平
酒井美紀 山谷初男

原作 | 東野圭吾 (角川文庫刊)

父親は、犯人を追う。

さまよう刃

YAIBA

刑事は、
父親を守りたかった。

監督・脚本 | 益子昌一 音楽 | 川井憲次 製作 | 平城隆司 中曽根千治 企画 | 川田直美 梅澤謙徳 選導茂行 プロデュース | 香月純一 プロデューサー | 石田基紀 山田康司 長澤尚子
撮影監督 | 左 敏 照明 | 三橋常登 美術 | 福澤裕二 装飾 | 奥田博英 録音 | 山方 浩 編集 | 三橋知生 助監督 | 早川真貴 制作担当 | 安田邦弘 甲斐路直 宣伝プロデューサー | 相田光江 制作プロダクション | オニオン
「さまよう刃」製作委員会 | 東映 テレビ朝日 オニオン 東映ビデオ エイベックス 木下工務店 読売新聞 角川書店 ViViA メーテレ 北海道テレビ 広島ホームテレビ 九州朝日放送 愛媛朝日テレビ テレビ朝日サービス

10.10^{Sat}
Roadshow
www.yaiba.jp

東野圭吾 衝撃の問題作。150万部突破の大ベストセラー、待望の映画化。

なぜこの小説を書こうと思ったかについては、ここでは語らないことにする。

じつは、自分でもよくわからないからだ。

強いていえば、胸の内にあるもやもやを文字にしていくと、こんな作品ができあがった、ということになる。

懸命にエンターテインメントにしようとしたが、重く暗い話になった。

だがこれ以上に軽さや明るさを求めるとメルヘンになってしまう。

この作品の映像化は困難であっただろうと素人ながら想像する。

光も華もないストーリーなのだ。だが完成作を見て唖った。さすがはプロたちだ。

物語の本質を理解し、光の代わりに闇を、

華の代わりに毒を描くことに徹した作品に仕上げている。

多くの人に見てもらい、何かを感じてもらえたらと思う。

東野圭吾

誰が裁くのか。誰が守るのか。

東野圭吾 作品の中で、最も映像化を熱望されていた衝撃作が遂に映画化。

妻を亡くした私にとって、娘は唯一の肉親です。

かけがえのない宝です。あの子がいるからこそ、これからの人生を生きていく意味を持ってました。

「秘密」「手紙」「容疑者Xの献身」「流星の絆」など映画・ドラマ化作品で大ヒットを連発している作家・東野圭吾。

「さまよう刃」は、少年法と被害者感情の乖離など社会に対する問題提起がたちまち話題となり、現在までに150万部を越すベストセラー記録を樹立。最も映像化を熱望されていた作品がいよいよスクリーンに登場する。

最愛の娘が、少年達によって、凌辱され

殺された。謎の密告電話により、失意のどん底に落ちていた父親・長峰重樹は、犯人を知ることになる。

「我が国の法律では未成年者に極刑は望めない!」

復讐が何も解決しない虚しい行為だと分かっていながら、父親は自ら犯人を追う—。

「警察は市民を守っているわけじゃない。警察が守ろうとしているのは、法律の方ってことですか」

娘を殺された父親の気持ちと残虐な犯罪を繰り返す少年を守るかのような少年法の狭間で揺れる刑事・織部孝史と真野信一。それぞれの苦悩と葛藤が交差し、事件は予想外の結末を迎える。

最愛の娘を奪われた主人公を、静かにしかし圧倒的な存在感で寺尾 聡が熱演。共演に竹野内 豊、伊東四朗という最高のキャストを迎え、観る者の心を激しく揺さぶる衝撃作が、ここに誕生した。

